

国労

蘇我運輸区分会ニュース

ワンマン運転 本当に大丈夫か？

続々々

みんなの不安を乗せて？

情報の共有化を！

分会組合員からも「新型ワンマン列車についての情報も知識も自分たちは知らなすぎるのではないか？」といった指摘がありました。確かに今までも自分たちが乗らない車両については、訓練や資料もなかったわけで今更かもしれません。今回の新型車両によるワンマン運転化は、今後乗務員の要員や業務のあり方、鉄道事業そのものを左右していくもので、決して他人事ではないと思います。同じ線区を乗務している以上、何らかの形（異常時等の便乗）で関

ごり押しの施策導入の結果？！

鴨川運輸区の仲間から房総地区の新聞に載った読者の声を紹介されました。地域住民、利用者の不安や不満の声を無視し「導入ありき」でJR側が勝手に進んでいった事実がよく分かります。この読者が要請を行なったという国土交通省14名、支社4名のそれぞれ担当者は全員「この間、内房線には乗ってない」と現地調査も何もなく「でも全国でワンマン運転は大丈夫なんだから・・・」と机上の計画が実施されたこととは否めません。私たちは「全国の大丈夫でない」事実が表に出されていないことも知っています。例えば全国が大丈夫でも内房線、外房線が大丈夫だという分析もおそらくなかったことと思います。この読者も「私たちの安全に対する不安を無視して、余所で実施済みで大丈夫だから、車掌の乗らないワンマン電車を走らせてしまうという大胆な発想に驚いている」と語っています。乗務員や利用者のことを甘く見ていることは勿論のこと、鉄道事業そのものの危機を会社が作っているような気がしてなりません。

ごり押しの結果どうなったか？！もっともっと貴重な利用者の本音が表に出れば良いと思います。

わること十分考えられ、そんな時緊急事態にでもなったら・・・お客に聞かれて「分かりません」では済まされません。利用者にしてみればワンマンだろうが、ツーマンだろうが求めるものは同じはずです。

そのほとんど全てが当該職場以外でも、もう少し興味が持てるような取り組みが必要ではないか・・・という声がありました。

たった2週間です！導入後たった2週間ほどで、色々な事象の報告が入ってきており、当該職場では更に多くの情報を持っていることと思います。

これまで普通に出来ていたことが、ワンマン化されたことで発生した事象ばかりであります。ダイヤ乱れでも放送は一切なし（放送しないように指導されている）それによる不接の事象、停車する場所が変わったことによる乗り遅れ、通学時間帯は2両では無理だからと早々と4両ツーマンでの運転、車内トラブルの対応、そしてご存知の通り、ドア挟まり寸前による旅客のホーム上での転倒で重

今まで普通に出来ていたことが、ワンマン化されたことで発生した事象ばかりであります。ダイヤ乱れでも放送は一切なし（放送しないように指導されている）それによる不接の事象、停車する場所が変わったことによる乗り遅れ、通学時間帯は2両では無理だからと早々と4両ツーマンでの運転、車内トラブルの対応、そしてご存知の通り、ドア挟まり寸前による旅客のホーム上での転倒で重

症事故という実施前に一番恐れていたことが早くも発生してしまいました。勿論、運転士に落ち度はなく、安全サポートを通し続けた会社全体の責任であります。前述した「利用者の求めるものは同じ」は事実であります。だからと言ってこれ以上の運転士への労働強化は絶対許されません。勿論、利用者を犠牲にすることも許されません！！

これ以上は無理！！

ワンマン化導入は既に破綻していると会社ははっきり認識すべきではないでしょうか。早急に対策を講じていかないと更に大変なことになります！！

